

## 社会基盤・都市社会系（社会基盤工学専攻・都市社会工学専攻）

社会基盤工学専攻と都市社会工学専攻は合同で入学試験を実施し、受験生は両専攻の中から志望研究室や志望教員を選択できる。

### I. 専攻別志望区分

以下に示す研究内容を参照し、予め志望区分の教員と十分に連絡をとり、受験する選考方法および研究計画等について相談した上で、インターネット出願システムの志望情報入力画面で志望区分の欄には第1志望の志望区分を選択すること。なお、各志望区分の教員の連絡先については、京都大学大学院工学研究科Cクラスター事務区教務掛（社会基盤・都市社会系 入試担当）に問い合わせること。

#### (1) 社会基盤工学専攻

志望区分	研究内容 (担当教員) (2020年10月現在)
1	応用力学：粒子法による流体解析、流体構造連成解析、乱流モデリング、海底トンネルの安定性評価、剛塑性有限要素法の開発と応用（西藤潤准教授・Khayyer, Abbas 准教授）
2	構造材料学：コンクリートを含む土木材料の諸性質、コンクリート構造を含む土木構造物の耐久性能・維持管理、設計法・シナリオデザイン（山本貴士教授）
3	構造力学：鋼・複合構造物の力学性状と合理的設計法、構造物の残存性能の非破壊評価と維持管理、海洋構造物の動的応答解析（杉浦邦征教授・北根安雄准教授）
4	橋梁工学：構造物の空気力学、空力不安定現象、流体関連振動、耐風安定化対策、耐風設計法、飛来塩分の輸送・付着機構、風災害の防止と安全性評価（八木知己教授）
5	構造ダイナミクス：構造物の動的応答と制御（免震・制振）、耐震設計法、ジオポリマーコンクリート（高橋良和教授・安琳准教授）
6	水理環境ダイナミクス：界面水理現象、植生乱流、氾濫流の水理、都市の水防災、水制とワンドの水域環境、物質輸送と移動床現象（戸田圭一教授・山上路生准教授）
7	水文・水資源学：水循環、水文予測、リアルタイム水文予測、水工計画、水資源管理（立川康人教授・市川温准教授・萬和明講師）
8	地盤力学：地盤と構造物の相互作用（静的・動的）の解明と設計法の構築、地盤の変形と破壊のシミュレーション、液状化解析法、メタンハイドレート含有地盤（木村亮教授・木元小百合准教授）
9	社会基盤創造工学：車両-橋梁連成系の構造動力学、橋梁構造物の環境振動、橋梁ヘルスマニタリング、移動橋梁点検、スマートセンシングシステム、走行荷重作用下の高架橋の耐震性能評価（金哲佑教授）
10	空間情報学：リモートセンシング、地理情報システム、デジタル写真測量、都市のレーザ計測、都市活動のセンシング（宇野伸宏教授・須崎純一准教授）
11	景観設計学：景観デザイン、都市デザイン、土木施設アーキテクチャ、風土・景域環境、地域計画、都市形成史（川崎雅史教授・山口敬太准教授）
12	沿岸都市設計学：沿岸都市の水理構造物設計、粒子法、数値波動力学、数値流体力学、数値流砂水理学、混相流の計算力学、都市群集行動のマイクロモデル（後藤仁志教授・原田英治准教授）
13	応用地球物理学：地球物理学的手法による浅部から深部にいたる地下構造調査や社会的に影響のある地学現象のモデル化、地下情報可視化技術（三ヶ田均教授・武川順一准教授）

志望 区分	研 究 内 容 (担当教員) (2020年10月現在)
14	地殻開発工学：二酸化炭素地中貯留や放射性廃棄物処分への貢献を目的とした岩石の力学・水理特性の研究、周辺環境が岩石物性の変化に及ぼす影響の解明（福山英一教授・奈良禎太准教授）
15	計測評価工学：構造物や地下環境の保全に関わる計測技術と非破壊検査、材料の非破壊評価、石油・天然ガスおよび鉱物資源の環境調和型開発技術（塚田和彦教授・村田澄彦准教授）
16	砂防工学：流砂系の総合的土砂管理、山地流域における土砂動態の予測・モニタリング、土砂災害の機構と防止対策、水・土砂・河川生態系構造の解明（藤田正治教授・竹林洋史准教授）
17	防災水工学：洪水流と河床変動の3次元構造、土砂生産と洪水への影響予測、土砂移動現象の観測と実験、河川堤防決壊のメカニズム、都市の内外水氾濫の水理、河川環境保全（中川一教授・川池健司准教授）
18	地盤防災工学：大地震時の地盤・構造物系の被災程度予測、降雨や地震による地盤の複合災害予測、複合材料を含む地盤の力学的挙動解明（渦岡良介教授）
19	水文気象工学：気候変動による降雨場への影響評価、気象レーダーを用いた降雨予測、レーダー水文学、降雨場の衛星リモートセンシング、都市域の水・熱循環とその予測、河川流域の形成過程（中北英一教授・山口弘誠准教授）
20	海岸防災工学：極端な高潮・高波・津波のモデリングとハザード・リスク評価、気候変動による沿岸部への影響評価と適応策、巨大津波リスクの長期評価（森信人教授・志村智也准教授）
21	防災技術政策：地球温暖化による流域への影響評価、洪水氾濫解析、水災害に対する戦略的対策策定、陸域海洋相互作用（佐山敬洋准教授・Lahournat, Florence 講師）
22	水際地盤学：海岸浸食の防止技術、沿岸構造物の実用的防災工学、水際域の堆積物動態と地形変化過程、沿岸環境の保全技術、土地・水域利用一体型の沿岸防災と海岸環境マネジメント（平石哲也教授・馬場康之准教授）
23	計算工学：自由水面流れの数値計算、流体・構造連成解析、水理分野の大規模高速計算、離散化と数値解法（差分法・有限体積法・有限要素法）、並列計算、数値可視化（牛島省教授）
24	国際環境基盤マネジメント：構造ヘルスマニタリング、非破壊検査、水工構造物の設計基準検討、気候変動を考慮した水工構造物の長期対策（金善玟准教授・張凱淳講師）

## (2) 都市社会工学専攻

志望 区分	研 究 内 容 (担当教員) (2020年10月現在)
26	構造物マネジメント工学：材料特性、劣化メカニズムに基づく維持管理、構造物の更新技術（高橋良和教授）
27	地震ライフライン工学：地震工学、防災工学、耐震工学（清野純史教授・古川愛子准教授）
28	河川流域マネジメント工学：河川・人工水路など開水路流れの水理学、河床・河道変動の力学、湖沼の環境水理学、地下水水理学、河川事業に対する問題意識分析（細田尚教授・音田慎一郎准教授）
29	土木施工システム工学：地盤施工学、海外建設プロジェクト、プロジェクトリスクマネジメント、都市地下水環境保全、アセットマネジメント（Pipatpongsa, Thirapong 准教授）

志望 区分	研 究 内 容 (担当教員) (2020年10月現在)
30	ジオフロントシステム工学：粘性土地盤の時間依存性変形解析、歴史的地盤構造物の保全技術、地盤情報データベース、不飽和土の微視的構造と巨視的力学挙動の関係の解明、不飽和土・飽和土の先進的数値解析手法の開発（三村衛教授・肥後陽介准教授）
31	地球資源システム：深部掘削における原位置応力状態の解明とその計測技術、高温高圧条件下における岩石の物理的性質の評価、石油・天然ガスの掘削坑壁安定性、地熱システムの数値モデリング、地表変動を用いた地下のモニタリング（林為人教授）
32	計画マネジメント論：社会資本政策論、交通行動とコミュニケーション行動、アセット・リスクマネジメント（松島格也准教授）
33	都市地域計画：都市計画学、都市政策論、公共交通政策論（松中亮治准教授・大庭哲治准教授）
34	都市基盤システム工学：地下空間の開発と利活用、不連続性岩盤の力学的・水理学的挙動、地盤材料の力学-水理-熱-化学連成問題、エネルギー生成後の副産物処理に関する先端的アプローチ、トンネル等地盤構造物の施工問題（岸田潔教授・澤村康生准教授）
35	交通情報工学：交通・物流システムの最適化、ビッグデータや ITS を利用した交通マネジメント、交通手段のシェアリングと総合化、交通ネットワーク信頼性解析、交通工学における実験的アプローチ（山田忠史教授・Schmöcker, Jan-Dirk 准教授）
36	交通行動システム：公共心理学研究、社会的ジレンマについての研究、行動的意思決定研究、実践的まちづくり社会科学研究、行動論的交通需要分析（藤井聡教授）
37	地殻環境工学：リモートセンシングや数値地質学による鉱物・水・エネルギー資源の分布形態解析、地殻のガス・流体貯留機能評価の高精度化、浅部から深部に至る地殻環境の評価と時空間モデリングの技術（小池克明教授・柏谷公希准教授）
38	耐震基礎：地震工学、地震動予測、耐震設計法、地盤-構造物の動的解析、土木構造物の地震応答性状、新耐震構造（澤田純男教授・後藤浩之准教授）
39	地域水環境システム：複合的環境動態モデル、総合流域管理、気候変動の洪水や渇水への影響評価（田中茂信教授・田中賢治准教授）
40	水文循環工学：水資源システムのマネジメント、地球水動態、水害対応行動のモデリング、水災害の防止と軽減（堀智晴教授）
41	災害リスクマネジメント：災害リスクの分析・評価方法、自然と産業の複合災害のマネジメント、化学的事故、インフラストラクチャと地域資産の持続可能なマネジメント、カタストロフリスク下の経済成長分析（Cruz, Ana Maria 教授・横松宗太准教授）
42	自然・社会環境防災計画学：水資源のリスクマネジメント、流砂系総合土砂管理、生物多様性保全、流域生態系管理（角哲也教授・竹門康弘准教授・Kantoush, Sameh Ahmed 准教授）
43	都市耐水：都市複合災害、水・構造システムの動的連成応答、極端事象に対する構造物の設計法、動的応答の制御、都市施設の性能経年劣化評価と管理、都市水害論、防災水理学、津波防災、地下空間の水防災（五十嵐晃教授・米山望准教授）
44	国際都市開発：都市・地域貨物輸送、ヒューマニタリアンロジスティクス（Qureshi, Ali Gul 准教授）

## II. 募集人員

社会基盤工学専攻 若干名

都市社会工学専攻 若干名

## III. 出願資格

### (1) 融合工学コース「人間安全保障工学分野」外国人留学生特別選考

- ・本募集要項の4ページから始まる各専攻に共通の要項（以下「募集要項」と略す）「II-i 出願資格」に定められた出願資格を有し、外国人留学生と認められる者のうち、融合工学コース「人間安全保障工学分野」のみを志望する者。

## IV. 学力検査日程

選考方法により下記のとおり実施する。口頭試問の時刻・場所など、詳細は事前に、桂キャンパスCクラスターC1棟191号室（1階、大講義室）西側廊下の社会基盤工学・都市社会工学専攻掲示板に掲示するので、注意すること。

### (1) 融合工学コース「人間安全保障工学分野」外国人留学生特別選考試験

口頭試問の試験日時および試験室については別途通知する。

#### ○学力検査に関する注意事項

- ・試験開始時刻15分前までに受験者控え室（桂キャンパスCクラスターC1棟192号室）に集合すること。
- ・試験室には必ず受験票を携帯し、係員の指示に従うこと。
- ・携帯電話等の電子機器類は、なるべく試験室に持ち込まないこと。持ち込む場合には、電源を切り、かばんにしまって所定の場所に置くこと。身につけている場合、不正行為と見なされることがあるので注意すること。
- ・時計のアラームは確実に切っておくこと。
- ・口頭試問における口頭発表では、コンピュータと接続可能な液晶プロジェクターは用意するが、コンピュータは用意しないので各自が持参すること。ただし、プレゼンテーション目的以外の電子機器の使用は一切認めない。また、万一の機器不具合に備え発表資料の印刷物を5部持参すること。
- ・口頭試問のスケジュールを変更する場合、該当者に事前に通知する。

## V. 入学試験詳細

### (1) 融合工学コース「人間安全保障工学分野」外国人留学生特別選考

口頭試問Ⅰ、口頭試問Ⅱにより合否を判定する。

#### (a) 口頭試問Ⅰ（500点/1000点）

受験者の修士課程の研究内容等に関連する分野を中心として、その基礎学力について30分程度の口頭試問を行う。

#### (b) 口頭試問Ⅱ（500点/1000点）

修士課程で研究している、あるいは今まで研究した内容、および博士課程での研究計画に関する試問を行う。

パソコン・液晶プロジェクター等を用いた15分以内の発表の後、口頭試問を行う（発表とあわせて30分程度）。

## (2) 有資格者及び合格者決定法

### (a) 融合工学コース「人間安全保障工学分野」外国人留学生特別選考

口頭試問Ⅰが300点以上で、かつ口頭試問Ⅱが300点以上の者を有資格者とする。

### (b) 有資格者の中から合格者を決定する。

## VI. 出願要領

### (1) 別途提出書類について

全ての受験生は、工学研究科に提出する出願書類以外に、下記の書類を郵送（書留便）または窓口で提出すること。準備に時間を要する書類もあるので、注意すること。

#### (a) 書類提出期限

2021年1月14日（木）午後5時（必着）

#### (b) 提出先

〒615-8540 京都市西京区京都大学桂

京都大学大学院工学研究科 Cクラスター事務区教務掛

（社会基盤・都市社会系 入試担当） TEL：075-383-2967

#### (c) 提出書類（様式は工学研究科ホームページからダウンロードすること）

- 日本語あるいは英語で記述した研究経過・計画書5部（A4紙10頁以内。様式-D1に必要事項を記入し表紙とすること。希望指導教員の承認印もしくはサインが必要）

## VII. 入学後の教育プログラムの選択

入試区分「社会基盤・都市社会系」の入試に合格することにより履修できる教育プログラムは、博士課程前後期連携教育プログラム（融合工学コース）「人間安全保障工学分野」に限られる。

## VIII. 教育プログラムの内容について

### 【融合工学コース】

募集要項「XI. 教育プログラムの内容（融合工学コース）」を参照すること。

## IX. その他

### ○新型コロナウイルス感染症への対応について

新型コロナウイルス感染症に関連して、募集要項公表後に入試に関する変更が生じる可能性がある。変更する場合には工学研究科および専攻のウェブサイトに掲載するので、定期的に最新の情報を確認すること。

### ○問い合わせ先

〒615-8540 京都市西京区京都大学桂

京都大学大学院工学研究科 Cクラスター事務区教務掛

（社会基盤・都市社会系 入試担当） TEL：075-383-2967

参考 URL：

- ・社会基盤工学専攻：<http://www.ce.t.kyoto-u.ac.jp/>
- ・都市社会工学専攻：<http://www.um.t.kyoto-u.ac.jp/>

※The Japanese language version of the information provides here is to be given precedence.

## Civil and Earth Resources Engineering/Urban Management (Department of Civil and Earth Resources Engineering or Department of Urban Management)

Entrance examinations for the Department of Civil and Earth Resources Engineering and Department of Urban Management will be jointly conducted, and applicants can select the preferred department and professors from either department.

### I. Study Areas

Applicants can refer to the list of study areas below, choose an area for special study during their doctoral research and indicate the first choice on the screen of Kyoto University Online Application. Prior to application, applicants should have contacted the preferred supervisor to discuss the research plan, and select the first choice of study area.

#### (1) Department of Civil and Earth Resources Engineering

Area No.	Research Topic (Faculty) (as of October, 2020)
1	Applied Mechanics: Particle-based computational fluid dynamics, fluid-structure interaction, turbulence modeling, mechanical stabilization of undersea tunnels, development and application of the rigid plastic finite element method (Assoc. Prof. Abbas Khayyer, Assoc. Prof. Jun Saito)
2	Structural Materials Engineering: Properties of structural materials including concrete, durability, maintenance, scenario design of civil infrastructures including concrete structures (Prof. Takashi Yamamoto)
3	Structural Mechanics: Structural behavior of steel/composite structures and their rational design, nondestructive evaluation of residual performance and maintenance of structures, dynamic analysis of offshore structures (Prof. Kunitomo Sugiura, Assoc. Prof. Yasuo Kitane)
4	Bridge Engineering: Bridge aerodynamics, wind-induced instabilities, flow-induced vibrations, aerodynamic countermeasures, wind resistant design, transportation and adhesion of airborne salt particles, wind-induced disasters (Prof. Tomomi Yagi)
5	Structural Dynamics: Dynamic response of structures and their control, base isolation, seismic resistant design, geopolymers concrete (Prof. Yoshikazu Takahashi, Assoc. Prof. Lin An)
6	Environmental Hydrodynamics: Air-water interfacial dynamics, coherent structure, mass transfer in vegetated flows, floodplain hydraulics, interaction between fluid and sediment, computation of turbulent flows, water related disasters (Prof. Keiichi Toda, Assoc. Prof. Michio Sanjou)
7	Hydrology and Water Resources Research: The hydrologic cycle, hydrologic prediction, real-time hydrologic forecasting, hydrologic design, water resources management (Prof. Yasuto Tachikawa, Assoc. Prof. Yutaka Ichikawa, Jr. Assoc. Prof. Kazuaki Yorozu)
8	Geomechanics: Investigation of soil-structure interaction (static and dynamic) and its design method, simulation of deformation and failure of ground, liquefaction analysis, methane hydrate containing ground (Prof. Makoto Kimura, Assoc. Prof. Sayuri Kimoto)
9	Infrastructure Innovation Engineering: Structural dynamics on vehicle-bridge interaction, environmental vibrations caused by bridge vibrations, bridge health monitoring, drive-by bridge inspection, smart sensing system, seismic performance of viaduct under traffic (Prof. Chul-Woo Kim)
10	Geoinformatics: Remote sensing, geographic information systems, digital photogrammetry, urban LiDAR measurement, sensing of urban activity (Prof. Nobuhiro Uno, Assoc. Prof. Junichi Susaki)
11	Urban and Landscape Design: Landscape design, urban design, architecture of infrastructure and environment, cultural climate and environment, regional planning, urban history (Prof. Masashi Kawasaki, Assoc. Prof. Keita Yamaguchi)
12	Urban Coast Design: Design and planning of urban coastal structures, particle method, computational wave dynamics, computational fluid dynamics, computational mechanics of sediment transport, computational mechanics for multiphase flow, crowd and multi-agent simulation in urban areas (Prof. Hitoshi Gotoh, Assoc. Prof. Eiji Harada)
13	Geophysics: Geophysical exploration of shallow to deep crustal structures, geophysical modeling of geological phenomena that influence human activities, visualization of subsurface geophysical properties (Prof. Hitoshi Mikada, Assoc. Prof. Junichi Takekawa)
14	Earth Crust Engineering: Rock fracture mechanics and dynamics in rock friction to study strength of the earth's crust and to apply to the stability condition for the basement rock, study on induced seismicity and its management, and study on hydraulic property of rock to contribute radioactive waste disposal and carbon capture and storage (Prof. Eiichi Fukuyama, Assoc. Prof. Yoshitaka Nara)
15	Measurement and Evaluation Technology: Instrumentation and nondestructive inspection technologies for underground structures and environment, nondestructive characterization of materials, environment-conscious development of oil, gas and mineral resources (Prof. Kazuhiko Tsukada, Assoc. Prof. Sumihiko Murata)
16	Sediment Control Engineering: Controlling sediment in mountain-river-coast systems, prediction and monitoring of sediment dynamic states in mountainous areas, developing methods to decrease damage from sedimentation disasters, evaluating the impact of sediment transport on the ecosystem (Prof. Masaharu Fujita, Assoc. Prof. Hiroshi Takebayashi)

Area No.	Research Topic (Faculty) (as of October, 2020)
17	Hydroscience and Hydraulic Engineering: Three dimensional structure of flood flow and bed form, prediction of sediment yield and its influence on flood, observations and experiments on sediment transport phenomena, mechanism of river dyke breach, simulation of urban inundation and stormwater drainage, interdisciplinary hydraulics-ecology and hydrodynamics (Prof. Hajime Nakagawa, Assoc. Prof. Kenji Kawaike)
18	Geotechnics for Hazard Mitigation: Damage estimation of geotechnical structures after large earthquakes, combined geo-disaster induced by rainfall and earthquake, behavior of geotechnical structures made of composite materials (Prof. Ryosuke Uzuoka)
19	Hydrometeorological Disasters Engineering: Global climate change impact assessment on precipitation field, precipitation forecasting, radar hydrology, remote sensing by spaceborne precipitation radar, analysis and forecast of water and heat circulation in urban area, formation process of river basin (Prof. Eiichi Nakakita, Assoc. Prof. Kosei Yamaguchi)
20	Coastal Disaster Engineering: Modeling, hazard and risk assessment of extreme storm surges, storm waves and tsunamis, Climate change impacts and adaptation on coastal hazards, Interaction between atmospheric, ocean and waves (Prof. Nobuhito Mori, Assoc. Prof. Tomoya Shimura)
21	Innovative Disaster Prevention Technology and Policy Research: Climate change impact on catchment at both the global and regional scale, including lakes and reservoirs, flood mitigation modeling, development of strategic approaches to prevent water-related disasters, continental-oceanic mutual interaction (Assoc. Prof. Takahiro Sayama, Jr. Assoc. Prof. Lahourmat, Florence)
22	Waterfront and Marine Geohazards: Coastal-erosion processes and integrated sediment management, estuarine and coastal geo-hydrodynamics, remote sensing of estuarine and coastal environments (Prof. Tetsuya Hiraishi, Assoc. Prof. Yasuyuki Baba)
23	Computational Engineering: Computational mechanics for fluids and solids, high-performance computation for hydraulics and structural engineering, computational methods (FDM, FVM, FEM), parallel computation, numerical visualization (Prof. Satoru Ushijima)
24	International Management of Civil Infrastructure: Structural health monitoring, nondestructive testing, hydrologic analysis for infrastructure, long-term design of hydrologic structures considering climate change (Assoc. Prof. Sunmin Kim, Jr. Assoc. Prof. Kai-Chun Chang)

## (2) Department of Urban Management

Area No.	Research Topic (Faculty) (as of October, 2020)
26	Structures Management Engineering: Materials property, maintenance method based on deterioration mechanism, metabolism of structure (Prof. Yoshikazu Takahashi)
27	Earthquake and Lifeline Engineering: Earthquake engineering, disaster prevention engineering, seismic risk management (Prof. Junji Kiyono, Assoc. Prof. Aiko Furukawa)
28	River System Engineering and Management: Fundamental theory of open channel flows, river channel processes, environmental hydraulics on lakes, groundwater hydraulics, evaluation of people's awareness to river improvement projects (Prof. Takashi Hosoda, Assoc. Prof. Shinichiro Onda)
29	Construction Engineering Systems: Geoconstruction engineering, international construction projects, project risk management, environmental preservation of urban groundwater, asset management (Assoc. Prof. Thirapong Pipatpongsa)
30	Geofront-System Engineering: Numerical assessment of time development behavior of clay foundations, conservation procedures for historical geo-relics, geo-informatic database, mechanics of partially saturated soils from micro to macro, development of advanced numerical analysis method both for fully saturated and partially saturated soils (Prof. Mamoru Mimura, Assoc. Prof. Yosuke Higo)
31	Earth and Resource System: Determination of in situ stress in ocean and continental deep drillings, measurements of rock physical properties under high pressure and high temperature conditions, wellbore stability for oil and gas developments, mathematical modeling of a geothermal system, visualization of subsurface phenomenon by InSAR (Prof. Weiren Lin)
32	Infrastructure Planning and Management Theory: Public investment policy, transportation and communication behavior, asset and risk management for infrastructures (Assoc. Prof. Kakuya Matsushima)
33	Urban and Regional Planning: Urban planning, urban policy, public transportation policy (Assoc. Prof. Ryoji Matsunaka, Assoc. Prof. Tetsuharu Oba)
34	Urban Management Systems: Development and public use of tunnel and underground space, mechanical and hydromechanical of fractured rock, mechanical-hydromechanical-thermal-chemical coupling process and its modeling on rocks and soils, advanced approach of the geo-sequestration of energy byproducts, construction issues on tunnel and geo-infrastructure (Prof. Kiyoshi Kishida, Assoc. Prof. Yasuo Sawamura)
35	Intelligent Transport Systems: Optimization of transport and logistics systems, traffic and public transport management using big data and ITS, shared mobility and integrated transport, reliability analysis of transport network, experimental approach to traffic engineering (Prof. Tadashi Yamada, Assoc. Prof. Jan-Dirk Schmöcker)
36	Travel Behavior Analysis: Public psychology, social dilemmas, behavioral decision making, practical social science research on community development, behavioral analysis of transportation demand (Prof. Satoshi Fujii)
37	Environmental Geosphere Engineering: Distribution analyses of mineral, water, and energy resources using remote sensing and mathematical geology; reservoir evaluation for storage properties of crustal gases and fluids; and assessment and spatio-temporal modeling of crustal environments from shallow to deep depths (Prof. Katsuaki Koike, Assoc. Prof. Koki Kashiwaya)

Area No.	Research Topic (Faculty) (as of October, 2020)
38	Dynamics of Foundation Structures: Earthquake engineering, engineering seismology, seismic design, soil-structure interaction, seismic performance of structures, innovative structure to resist seismic vibrations (Prof. Sumio Sawada, Assoc. Prof. Hiroyuki Goto)
39	Regional Water Environment System: Comprehensive environmental dynamics model, integrated water resources management, assessing the impact of climate change on flood and drought (Prof. Shigenobu Tanaka, Assoc. Prof. Kenji Tanaka)
40	Water Resources Engineering: Water resources systems management, global water dynamics, modeling of human response to water hazards, prevention and mitigation of water-related disasters (Prof. Tomoharu Hori)
41	Disaster Risk Management: Methodology of disaster risk analysis and assessment, Natech, industrial risk management, chemical accident, sustainable management of infrastructure and local assets, economic growth theory under catastrophic risks (Prof. Ana Maria Cruz, Assoc. Prof. Muneta Yokomatsu)
42	Environmental Disaster Mitigation Management: Risk management of water resources, integrated management of sediment routing systems, biodiversity conservation, ecosystem management in river basins (Prof. Tetsuya Sumi, Assoc. Prof. Yasuhiro Takemon, Assoc. Prof. Sameh Ahmed Kantoush)
43	Urban Flood Control: Compound urban disasters, dynamics of fluid-structure coupled systems, structural design for extreme events, dynamic response control, assessment and maintenance of deteriorating urban facilities, urban flood disaster, hydraulics of water-related disasters, water disaster prevention for underground space, tsunami disaster prevention (Prof. Akira Igarashi, Assoc. Prof. Nozomu Yoneyama)
44	International Urban and Regional Development: Urban and regional freight transportation, humanitarian logistics (Assoc. Prof. Ali Gul Qureshi)



## II. Enrollment Capacity

Department of Civil and Earth Resources Engineering: A few persons

Department of Urban Management: A few persons

## III. Eligibility requirements for applicants

- (1) Special selection of international students for the Interdisciplinary Engineering Course, “Human Security Engineering”:
  - Refer to “II-i Eligibility,” common requirements in all departments, in the Guideline for Applicants. Applicants who qualify for “II-i Eligibility” in the Guideline for Applicants, and wish to choose only the Interdisciplinary Engineering Course, “Human Security Engineering”.

## IV. Examination Schedule

The following are the schedules for each selection method. Please be aware that information such as timing and venue of oral examinations will be posted in advance on the department board located at the west corridor of Room 191 (1st floor, main auditorium) C1 bldg., C Cluster, Katsura Campus.

- (1) Special selection of international students for the Interdisciplinary Engineering Course, “Human Security Engineering”:

The date and room for the oral examination will be notified separately.

  - Examination Instructions
    - For oral examinations, be sure to come to the waiting room for applicants (Room 192, C1 Bldg, C Cluster, Katsura Campus) no later than 15 minutes before the examination starts.
    - Be sure to bring your examination voucher with you and follow the instructions of the proctor and other staff.
    - Refrain from taking your mobile phone or other electronic devices into the room. If you take those electronic devices into the room, turn off the power, keep the devices in your bag and put your bag in the designated place. If you carry those electronic devices with you, you could be deemed to conduct fraudulent act.
    - Be sure to turn off the alarm functions of watches.
    - Only a projector to be connected to PCs is provided for the oral presentations of the oral examinations. Since we do not provide PCs, please bring your own PC. However, we do not allow any use of electronic devices for purposes other than presentations. Additionally, bring five copies of printed presentation materials.
    - When changing schedules for oral examinations, we notify relevant parties in advance.

## V. Details of Entrance Examinations

- (1) Special selection for international students for the Interdisciplinary Engineering Course, “Human Security Engineering”:

Decisions on passing or failure will be based on Oral Exam I and II.

  - (a) Oral Exam I (score 500 / 1000):

A 30-minute oral examination will be conducted to examine basic knowledge in related areas including the applicants' master's program research.
  - (b) Oral Exam II (score 500/1000):

Applicants should prepare a presentation (within 15 minutes in length) on their master’s program research or their past research and research plans for the doctoral program. In a presentation, applicants can use projector and PC. The interview will be conducted after presentation (total of about 30 minutes, including time for presentations).

(2) Examination Criteria:

- (a) Special selection of international students for the Interdisciplinary Engineering Course, “Human Security Engineering”:  
Applicants who score 300 or above for Oral Exam I and 300 or above for Oral Exam II will qualify.
- (b) Successful applicants will be decided from among the applicants who satisfy the above criteria.

## VI. Instructions on Application for Admission

(1) Additional Required Documents:

Aside from documents submitted to the Graduate School of Engineering, Katsura Campus, B Cluster, Administration Complex, all applicants must submit the following documents by registered mail (kakitome-bin (書留便)) or in person to C Cluster, Graduate Student Section. Please be aware that some documents require time for preparation.

- (a) Deadline for submission of documents:  
No later than 5:00 p.m. on Thursday, January 14, 2021
- (b) Submit to:  
C Cluster Office, Graduate Student Section, Graduate School of Engineering, Kyoto Daigaku-Katsura, Nishikyo-ku, Kyoto, 615-8540 (Admissions for the Department of Civil and Earth Resources Engineering and the Department of Urban Management), TEL: 075-383-2967
- (c) Additional Required Documents:  
(Download the forms from the website of the Graduate School of Engineering.)
  - Five copies of progress/plan of research written in Japanese or English (A4-sized paper, within 10 pages)  
Fill up necessary items on Form D1 and use as cover paper. Stamps or signatures by preferred supervisors are necessary.

## VII. Selecting your course after enrollment

Courses that can be taken upon passing of entrance examinations for category “Civil and Earth Resources Engineering/Urban Management” are limited to the Integrated Master’s-Doctoral Course Program (Interdisciplinary Engineering Course), “Human Security Engineering.”

## VIII. Course details

[Interdisciplinary Engineering Course]

Refer to “XI Educational Program (Interdisciplinary Engineering Course)” in the Guidelines for Applicants.

## IX. Other

- Special Measures for Response to COVID-19 :  
Due to social conditions caused by the spread of the Novel Coronavirus (COVID-19), the entrance examination and test details are subject to change. When change is made, information will be posted on the websites of the Graduate School of Engineering and each department. Be sure to check the latest information.
- Inquiries:  
C Cluster Office, Graduate Student Section, Graduate School of Engineering, Kyoto University  
(Admissions for the Department of Civil and Earth Resources Engineering and the Department of Urban Management)  
Kyoto Daigaku-Katsura, Nishikyo-ku, Kyoto, 615-8540, JAPAN  
TEL: 075-383-2967

Reference URL:

- Civil and Earth Resources Engineering Department: <http://www.ce.t.kyoto-u.ac.jp/en/>
- Urban Management Department: <http://www.um.t.kyoto-u.ac.jp/en/>